

果樹病虫害発生状況（8月）

1 リンゴ

(1) 斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、中通り北部でやや低く、中通り南部でやや高い状況でした。会津では平年並でした（図1）。

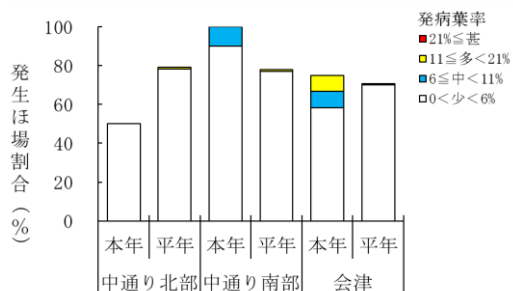


図1 リンゴ斑点落葉病の発生状況（平年：平成21年～30年）

(2) 褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、中通りで平年並でしたが、会津では平年よりやや高い状況でした（図2）。

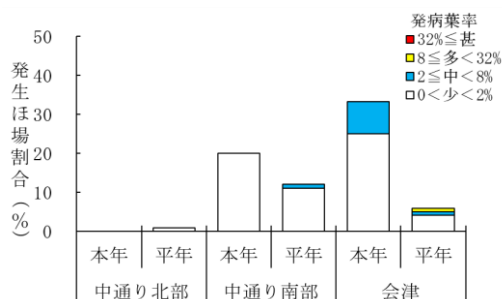


図2 リンゴ褐斑病の発生状況（平年：平成21年～30年）

(3) 炭疽病

果実での発生ほ場割合は、中通り北部、会津ともに平年並でしたが、中通り南部では平年よりやや高い状況でした（図3）。

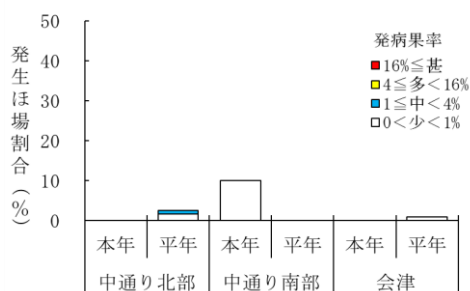


図3 リンゴ炭疽病の発生状況（平年：平成21年～30年）

(4) キンモンホソガ

新梢葉での被害発生ほ場割合は、中通り、会津ともに平年並でした（図4）。

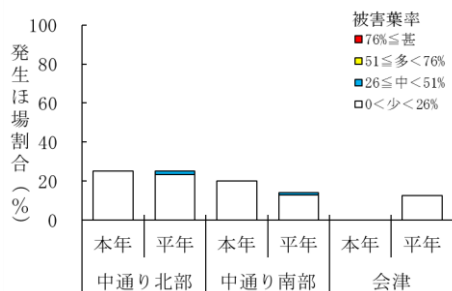


図4 キンモンホソガの発生状況（平年：平成21年～30年）

2 モモ

(1) せん孔細菌病

新梢葉での発生ほ場割合は、福島地域、伊達地域ともに平年並でしたが、伊達地域では発生程度の高いほ場が多く見られました（図5）。秋期防除を徹底して、越冬菌密度の低下を図ってください（注意報第2号参照）。

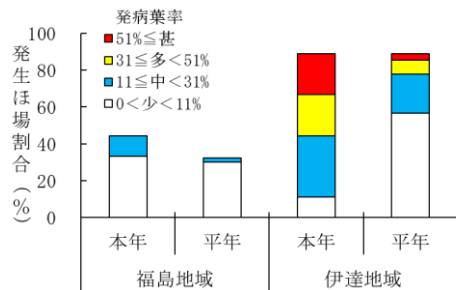


図5 モモせん孔細菌病の新梢葉での発生状況（平年：平成21年～30年）

(2) モモハモグリガ

新梢葉での発生ほ場割合は、福島地域で平年より高く、伊達地域では平年並の状況でした（図6）。

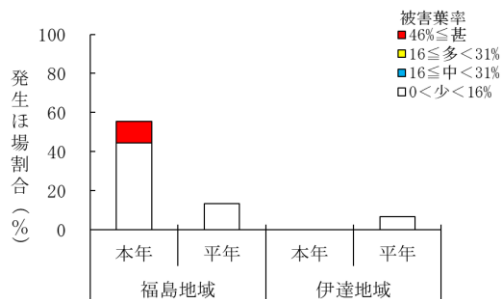


図6 モモハモグリガの発生状況（平年：平成21年～30年）

3 ナシ

(1) 黒星病

中通りでの新梢葉、果実の発生ほ場割合は、平年より高い状況でした（図7、図8）。

浜通りでの新梢葉、果実の発生ほ場割合は、平年よりやや低い状況でした（図7、図8）。

発生が多いほ場では幸水収穫後に秋期防除を徹底し、越冬菌密度の低下を図ってください（注意報第3号参照）。

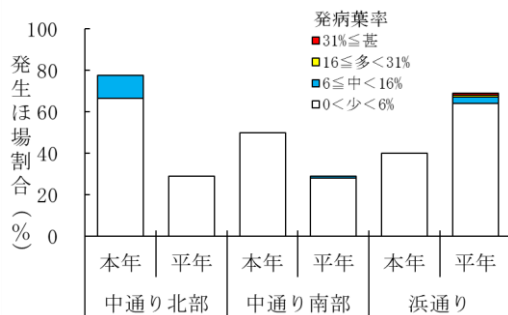


図7 ナシ黒星病の新梢葉での発生状況（平年：平成21年～30年）

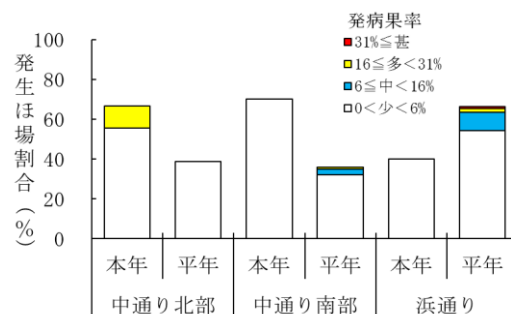


図8 ナシ黒星病の果実での発生状況（平年：平成21年～30年）

(2) 輪紋病

各地方ともに、果実被害は確認されませんでした。

(3) カイガラムシ類

各地方ともに、クワコナカイガラムシ、ナシマルカイガラムシによる果実被害は確認されませんでした。

4 果樹共通

(1) シンクイムシ類

リンゴ、モモ、ナシにおけるモモシンクイガ、ナシヒメシンクイによる果実被害は各地方ともに確認されませんでした。

(2) カメムシ類

各地方における果実被害の発生は場割合は、平年並でした（図9、図10）。

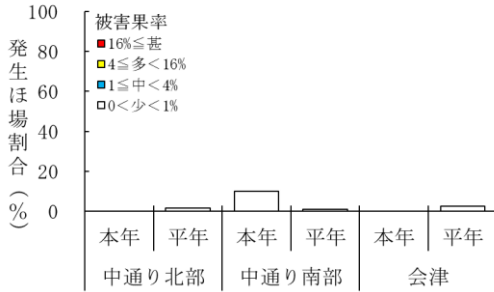


図9 カメムシ類の果実被害の発生状況（リンゴ）
（平年：平成21年～30年）

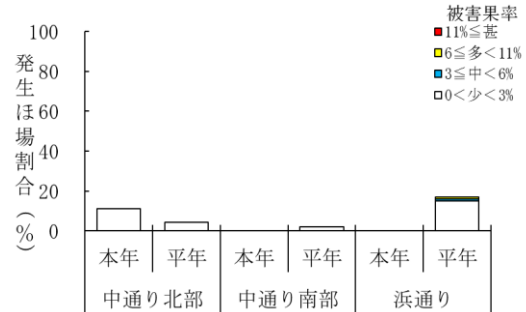


図10 カメムシ類の果実被害の発生状況（ナシ）
（平年：平成21年～30年）

(3) ハマキムシ類

リンゴ、モモ、ナシともに果実被害は確認されませんでした。

(4) ハダニ類

各地方における、リンゴ、モモ、ナシの発生ほ場割合は平年よりやや高い状況でした（図11、図12、図13）。

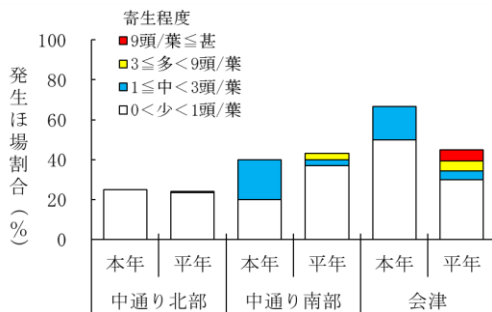


図11 リンゴのハダニ類の発生状況
（平年：平成21年～30年）

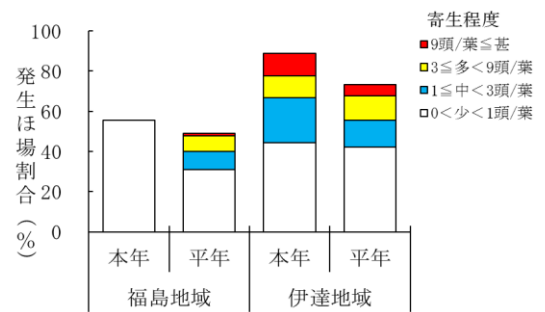


図12 モモのハダニ類の発生状況
（平年：平成21年～30年）

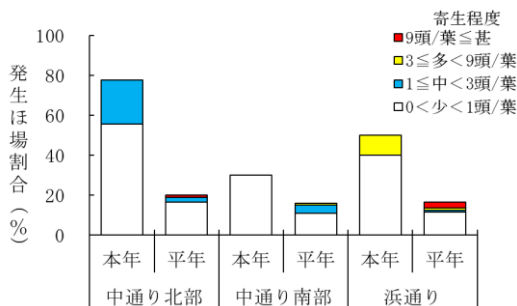


図13 ナシのハダニ類の発生状況
（平年：平成21年～30年）